

移住者受入れのための地域の体制づくりの支援（久万高原町）

【取組概要】

過疎高齢化が進展する本町において、人口減少に歯止めを掛けることは喫緊の課題となっており、流出の抑制とともに町外からの移住を推進する必要がある。

しかしながら、単なる住居の提供では、長年培われてきた地域の慣習や文化の中で、地元住民と移住者の意思疎通が十分でないことによるトラブル等も予想される。

将来に渡って地域が元気であるために、移住者を受け入れることの意義と方策を地域全体で考えることにより、今後における取組の基盤を整える。

①組織の構築

活動員が減少し、自治会での活動が困難になりつつあるため、広範囲な活動ができる公民館において組織づくりを検討する。

②住民集会の開催

役員だけではなく、多くの住民に取り組んでもらうことで意見の集約や理解を深める。

③長期計画の策定

将来的に地域を存続させ、さらには、活発な活動に取り組むことを目指した将来目標を定め、目標達成のための手段を探る。

人口 9,177人(H27.3末)

担当部署 久万高原町総務課

事業実施期間 平成26年度

取組事例のURL

<http://www.town.kumakogen.ehime.jp/>



意識醸成のための住民集会

【取組のポイント(特徴・先進性・特色など)】 【今後の構想や、他団体との連携の可能性】

- ・現在活動が続けられている地域から、移住者を受け入れた実績のある地域を選定。
- ・新たな住民となった方々から外から見た当地区の魅力、移住への決め手や不安だったところなど、具体的な意見を取り入れる。
- ・トライアルとして、東京で開催される移住フェアへの参加による、都市圏の移住希望者の要望把握。

- ・移住者受入体制は具体化されていないため、協力者を募り組織化を図る。
- ・地域おこし協力隊や集落支援員の導入により継続的な活動を推進。
- ・空き家および空き農地の把握や、地域の魅力発信
- ・移住体験施設(空き家・集会所等)の整備
- ・農林業による雇用の創出



東京移住フェアにおけるアンケート実施